

2026年JAF四国ジムカーナ選手権第7戦

2026年JMRC全国オールスター選抜ジムカーナ第7戦

POTENZA CUP '26 SKMC スラロームアタック No49

主催：スポーツ・メンテナンス・クラブ (SKMC)

開催日：2026年8月23日

場所：モーターランド たちかわ

レポート：JMRC四国 広報担当

R2クラス西尾吏巧選手が開幕戦から無傷の7連勝！

R3クラスは下川和大選手が2勝目でランキングトップに浮上

BSC1クラスは金森峰史選手が3勝目

全8戦で争われるJAF四国ジムカーナ選手権も早いもので最終戦前の第7戦。既に前戦まででR1クラス三井康司選手、R2クラスの西尾吏巧選手、R4クラスの竹下俊博選手、BSC1クラスの田中康一選手のシリーズチャンピオンが決まっているが、前戦まで、R3クラスは土居明生選手、下川和大選手、高芝大輔選手、そして武田弘己選手が、PNクラスは星川栞人選手と徳永秀典選手がチャンピオン争いを展開しており、まだまだ目が離せない状況が続いていた。

R1クラスは前戦に続いて三井康司選手が不在。福田和秀選手が前戦に続いて優勝した。R2クラスは今シーズン負けなしで6連勝中の西尾吏巧選手が今回も圧倒的な速さで優勝。開幕7連勝とした。西尾選手は「最終戦も勝ちたい」と力強く語っていた。R3クラスはシリーズをリードしており、優勝すれば無条件でチャンピオンが決まる土居明生選手が第1ヒート、まさかの脱輪でリタイヤ。第2ヒートは不出走となりノーポイントに。下川和大選手が優勝し、シリーズトップに浮上。チャンピオン争いは下川選手と土居選手に絞られたが、決定は最終戦に持ち越しとなった。R4クラスには、昨シーズンまで5年連続でチャンピオンを獲得。今シーズンは転勤のため中国地区で参戦し、チャンピオンを決めている山下和実選手が登場。第2ヒートはミスコースながらも第1ヒートの走りで優勝を決めた。状況次第で星川選手のチャンピオンが決まる可能性があった注目のPNクラスは第1ヒートはパイロンペナルティで出遅れた天満清選手が第2ヒートで逆転し、優勝。徳永選手が僅差で堅実に2位、星川選手が3位となり、このクラスもチャンピオン決定は最終戦に持ち越しとなった。BSC1クラスは今シーズン、途中からの参戦ながらも、チャンピオン決定の田中選手に競い勝って2勝を挙げている金森峰史が優勝。3勝目を挙げた。



R1クラス優勝の福田和秀選手



R1クラス2位の堤耕平選手



R 2 クラス優勝の西尾吏巧選手



R 2 クラス 2 位のジュウガワ貴行選手



R 3 クラス優勝の下川和大選手



R 3 クラス 2 位の山崎聡一選手



R 4 クラス優勝の山下和実選手



R 4 クラス 2 位の瀧本恭之選手



P N クラス優勝の天満清選手



P N クラス 2 位の徳永秀典選手



B S C 1 クラス優勝の金森峰史選手



B S C 1 クラス 2 位の田中康一選手



R 1 クラス入賞者



R 2 クラス入賞者



R 3 クラス入賞者



R 4 クラス入賞者



P N クラス入賞者



B S C 1 クラス入賞者